



世界文化遺産富士山の麓にて
 「富士林間学校」開催

日立金属株式会社

2013年、世界文化遺産に登録された富士山。その麓で毎年「富士林間学校」を開催しています。富士林間学校は、御殿場にある当社研修所「富士和彊センター」で行われています。開校は1973年、当時の社長河野典夫の「富士山は日本の象徴、この研修所を夏は社員家族に利用してもらってはどうか、こんなに大きな富士山を見る機会はなかなかないだろう」という思いがきっかけでスタートしました。

開校当時は、大学生ボランティア、OB社会人の児童レクリエーションサークルの方々のご協力のもと「親子連れの林間学校」として開催されました。現在は当社人事総務が主体となり、従業員およびグループ会社の子弟4～6年生の希望者を対象に、子供たちの夏休みに合わせて実施しております。

今年は7月31日～8月2日の3日間、28名の児童を迎え、初日に飯盒炊爨、2日目に宝永山登山、キャンプファイヤ、3日目に記念品製作を行いました。

参加した子供たちからは「飯盒炊爨は言葉に表せないくらい面白かった」「富士登山は辛かったけど、ゴールに着いたらとても達成感があった」「家族と離れたのが寂しかったけれど、友達が出来てうれしかった」といった感想をもらいました。

富士の恵まれた自然の中で“初めて会う仲間”と送る2泊3日の共同生活は、集団生活の規律を学ぶ場であり、また、日常生活では味わえない貴重な思い出となったと思います。今後も、40年間開催されている歴史ある「富士林間学校」を続けていきます。

<世界文化遺産富士山麓での林間学校の参加者>

